

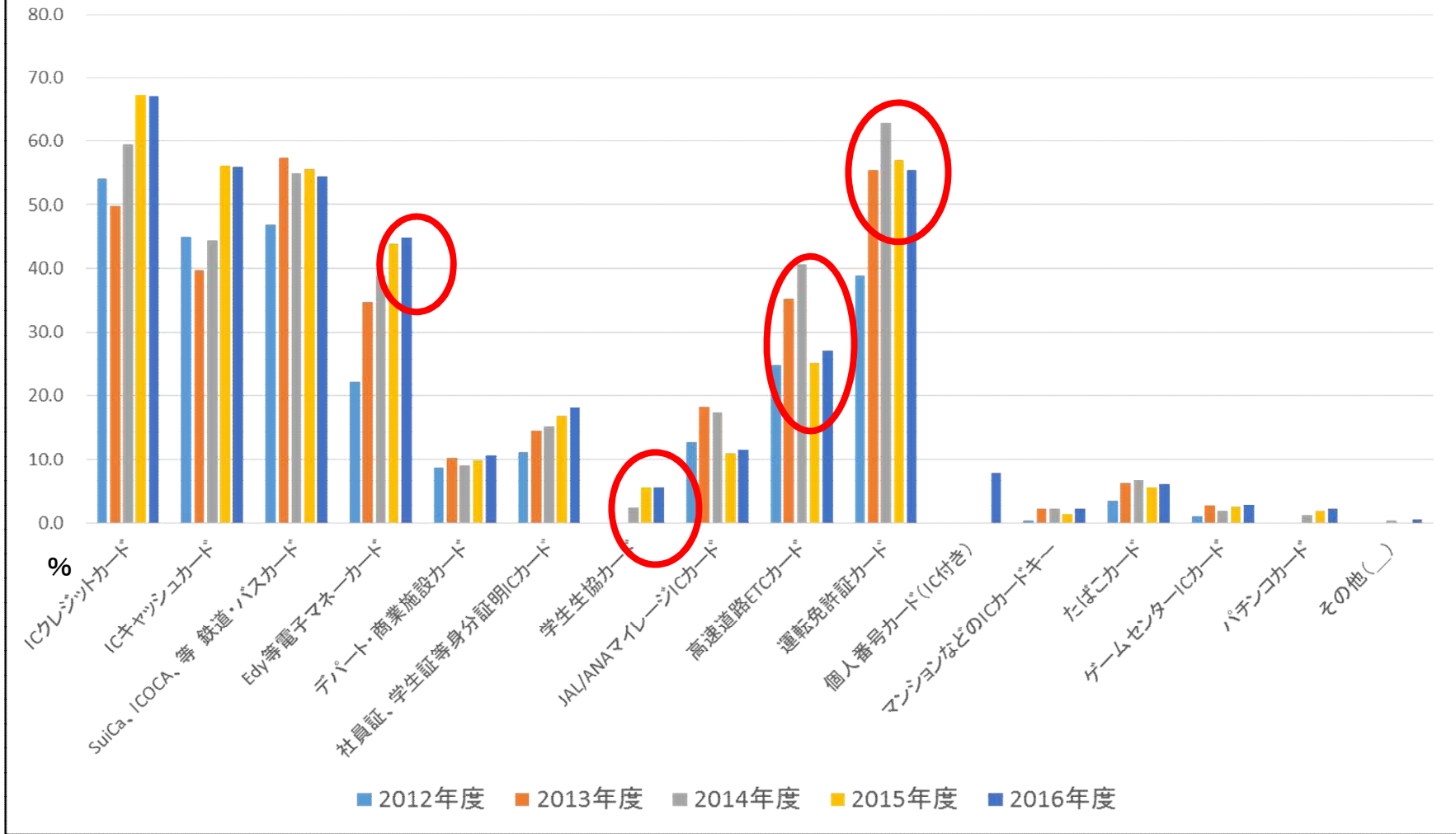
第17回 ICカード利用動向調査報告 2016年度

一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会
カード及びカードシステム部会
カード調査分科会

第17回「ICカード利用動向に関する調査」アンケート仕様

	トライアル	第1回	第2回	第3回		第13回	第14回	第15回	第16回	第17回
時期	2005年度	2006年度	2006年度	2007年度		2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
手法	ネットアンケート	同左	同左	同左		同左	同左	同左	同左	同左
調査対象数	310人	1,000人	1, 000人	1, 000人		1, 000人	1, 000人	1, 000人	1, 000人	1, 000人
対象年代層	18才～60才	15才～上限無し	同左	同左		18才-69才	18才-69才	18才-69才	同左	同左
男女比	比率 50:50	同左	同左	同左		同左	同左	同左	同左	同左
対象居住エリア	国内で可能な限り偏らない	同左	同左	同左		全国8エリア	全国8エリア	全国8エリア	同左	同左
対象職業層	同上	同左	同左	同左		特に識別しない	特に識別しない	特に識別しない	学生、社会人、専業主婦、無職のカテゴリで等分	学生、社会人、専業主婦、無職のカテゴリで等分

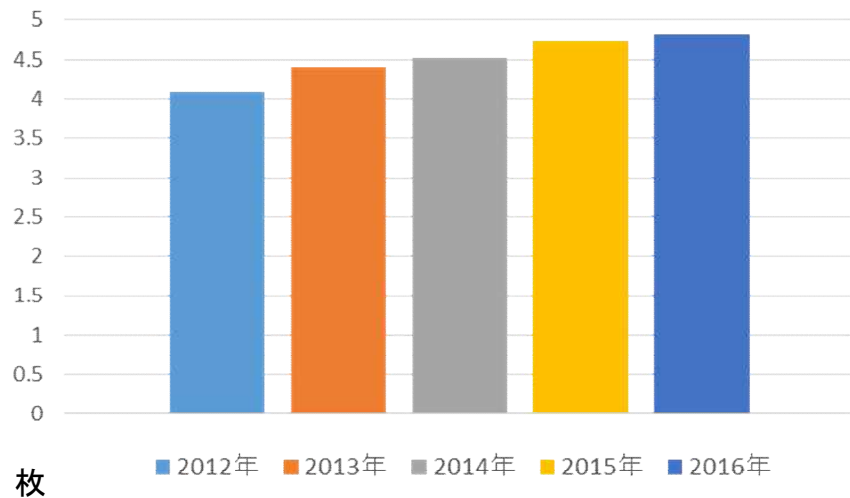
ICカード種類ごとの保有率(複数回答)



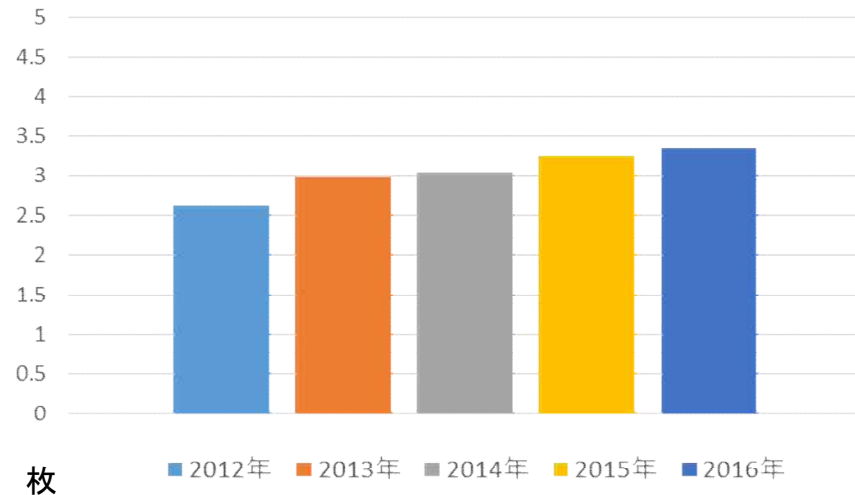
分析

- 電子マネーは利便性の高さから保有が増加していると推測される。
- 社員証、学生証などの身分証ICカードが増加している。
- 運転免許証カードの保有の減少によりETCカードの保有も減少していると推測される。
- 個人番号カード(IC付き)を今回から新たに項目として追加した。

ICカード保有枚数



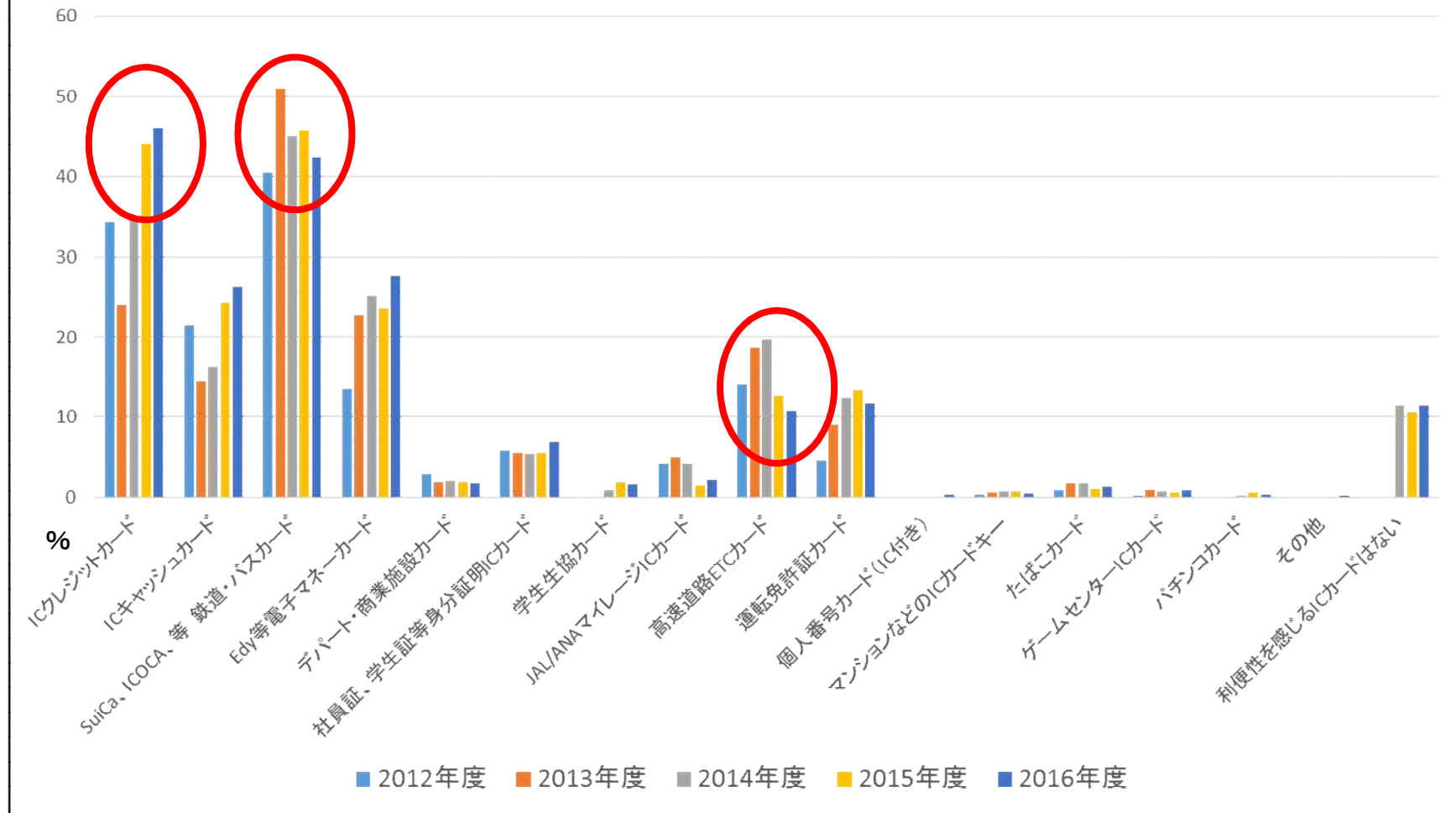
ICカード持ち歩き枚数



分析

- 全体的にICカードの保有枚数は微増傾向である。
保有枚数は、約4.82枚。持ち歩き枚数は、約3.35枚であった。
- 2005年から2014年にかけてICカード保有枚数、持ち歩き枚数は、2倍～3倍に増えている。

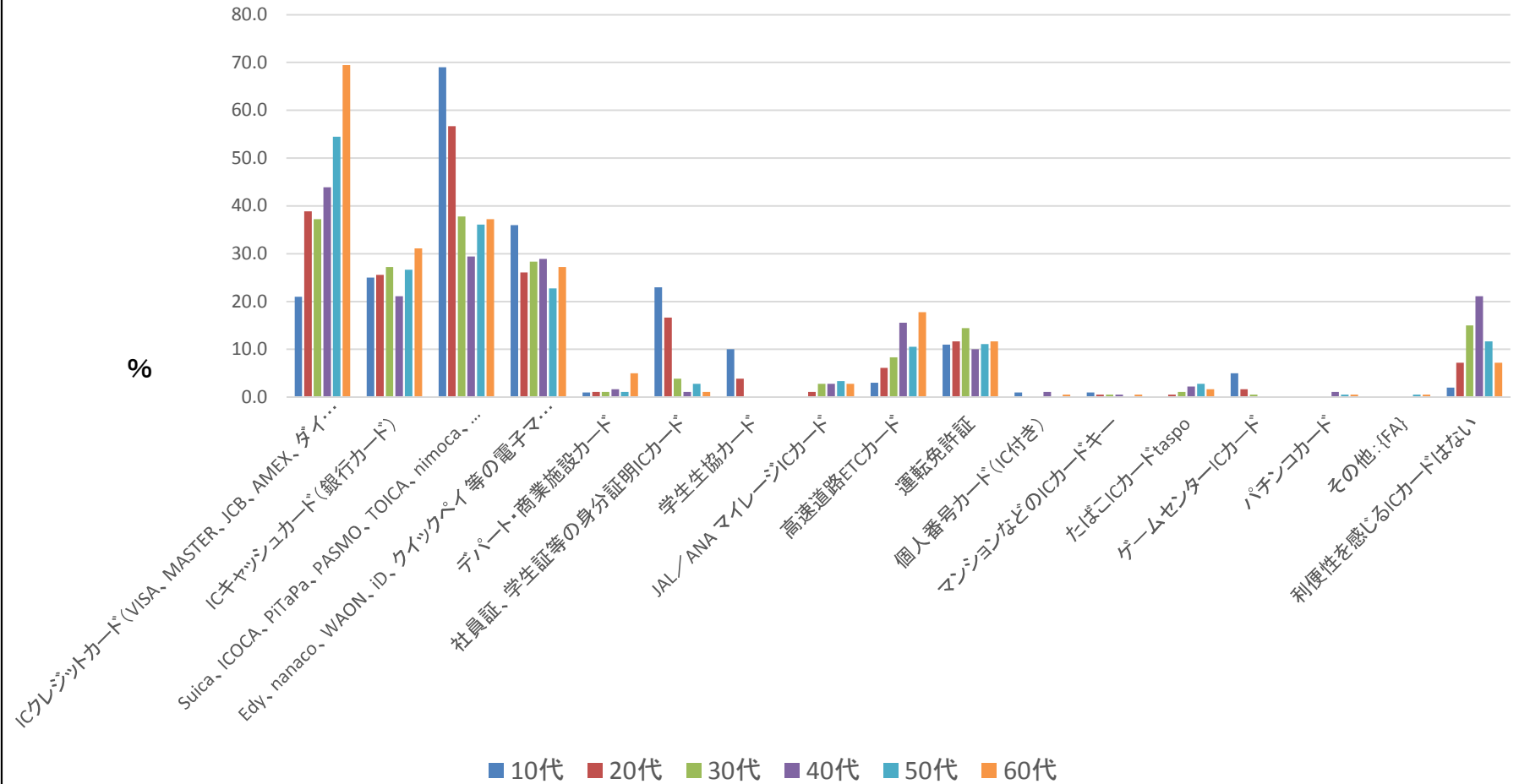
保有するICカードの中で利便性を感じるICカード(3つまで)



分析

- ICクレジットカード、交通系カード、電子マネーカードについては、利便性を感じる割合が高い。
- 車の所有が減っているため、ETCカードの利便性を感じる割合が減少していると推測される。
- 個人番号カード(IC付き)を今回から新たに項目として追加した。

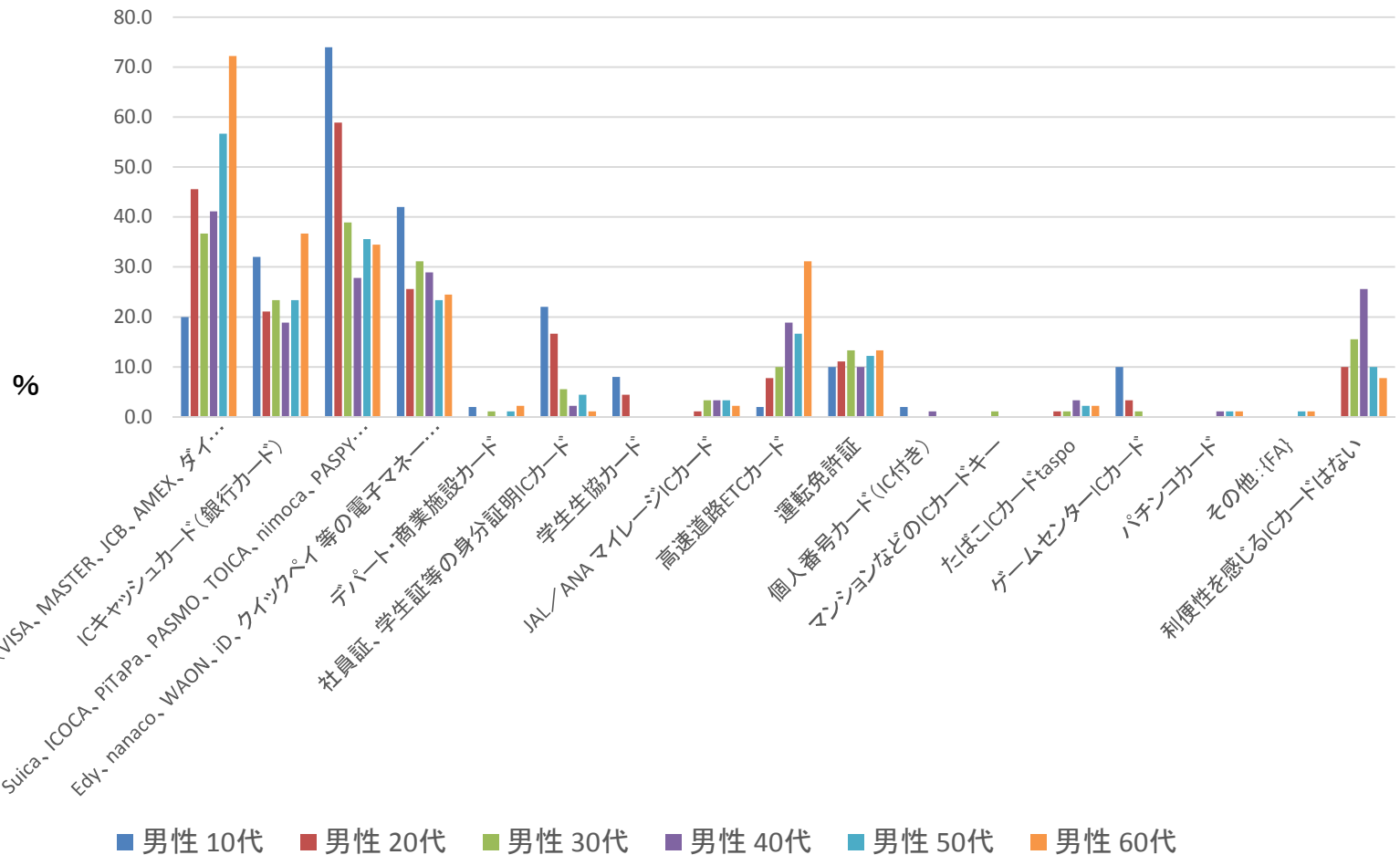
年代別 あなたが所有しているICカードの中で、
利便性を感じるICカードはどれですか。(3つまで)



分析

- クレジットカード決済の利便性を感じる割合は、年代が上がるほど増加している。
- 交通系カードに利便性を感じるのは10代が多い。

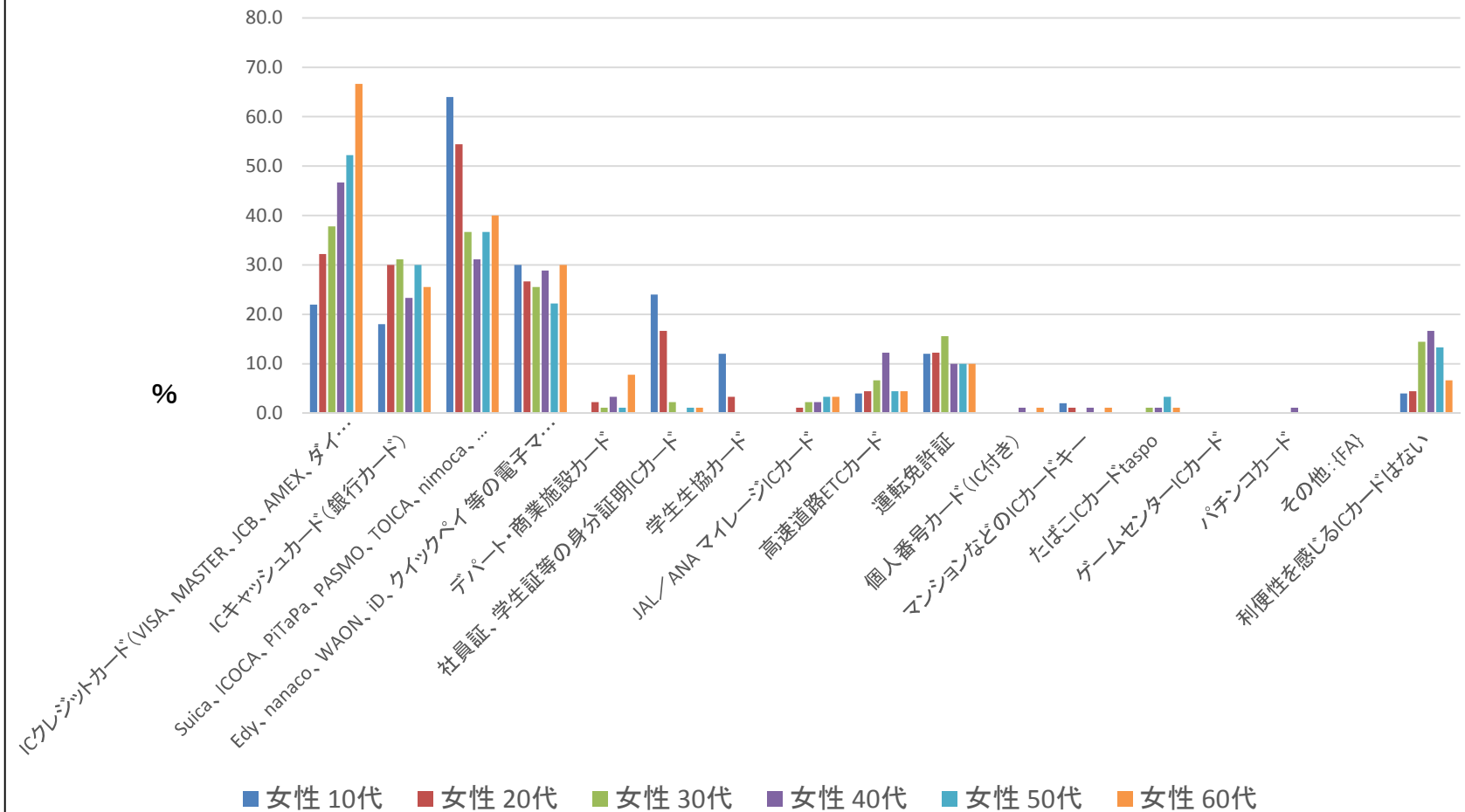
男性年代別 あなたが所有しているICカードの中で、
利便性を感じるICカードはどれですか。(3つまで)



分析

- クレジットカード決済の利便性を感じる割合は、年代が上がるほど増加している。
- 交通系カードに利便性を感じるのは10代が多い。
- 高速道路のETCカードに利便性を感じる割合は60代に多い。

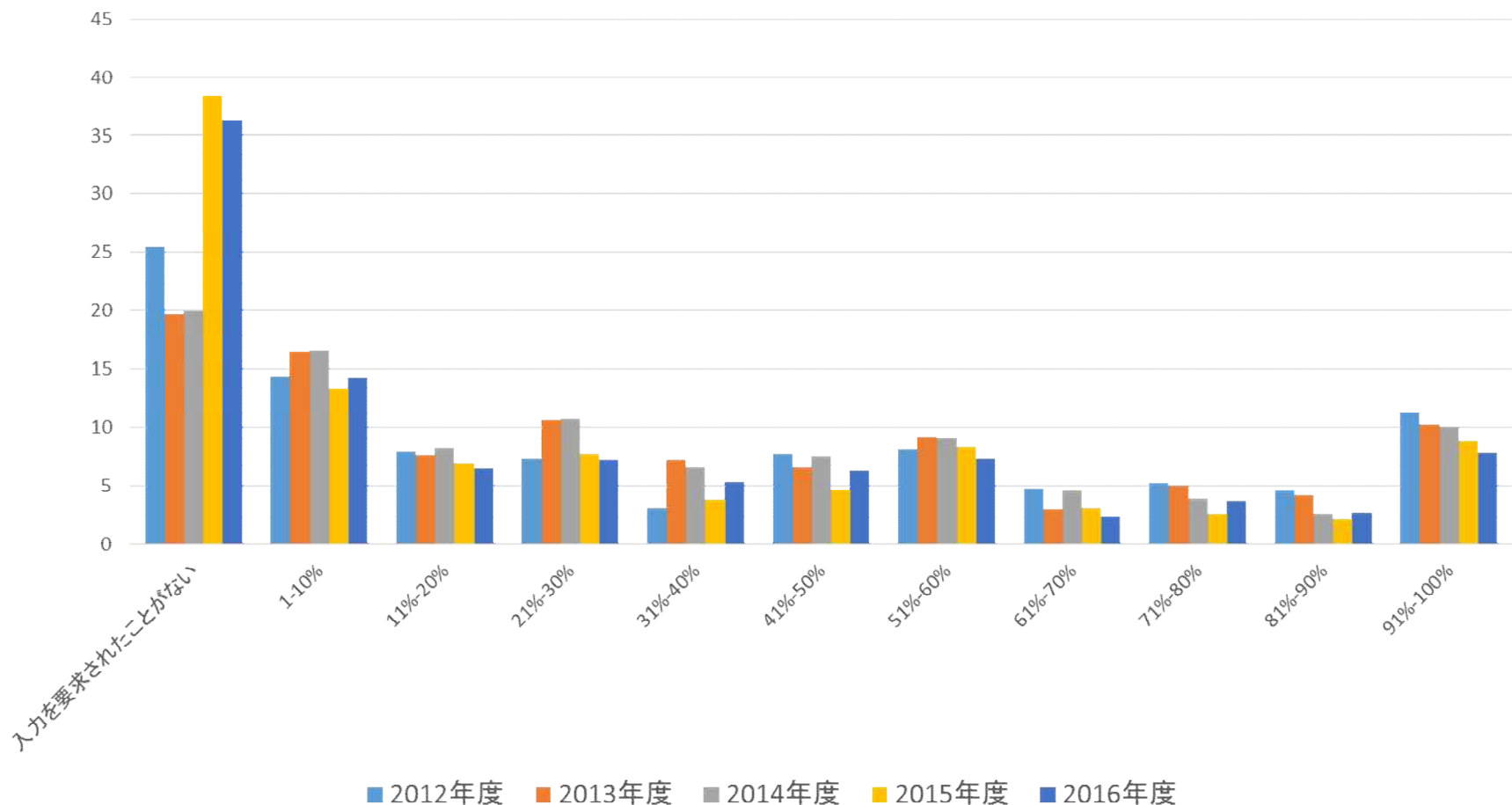
女性年代別 あなたが所有しているICカードの中で、
利便性を感じるICカードはどれですか。(3つまで)



分析

- クレジットカード決済の利便性を感じる割合は、年代が上がるほど増加している。
- 交通系カードに利便性を感じるのは10代が多い。

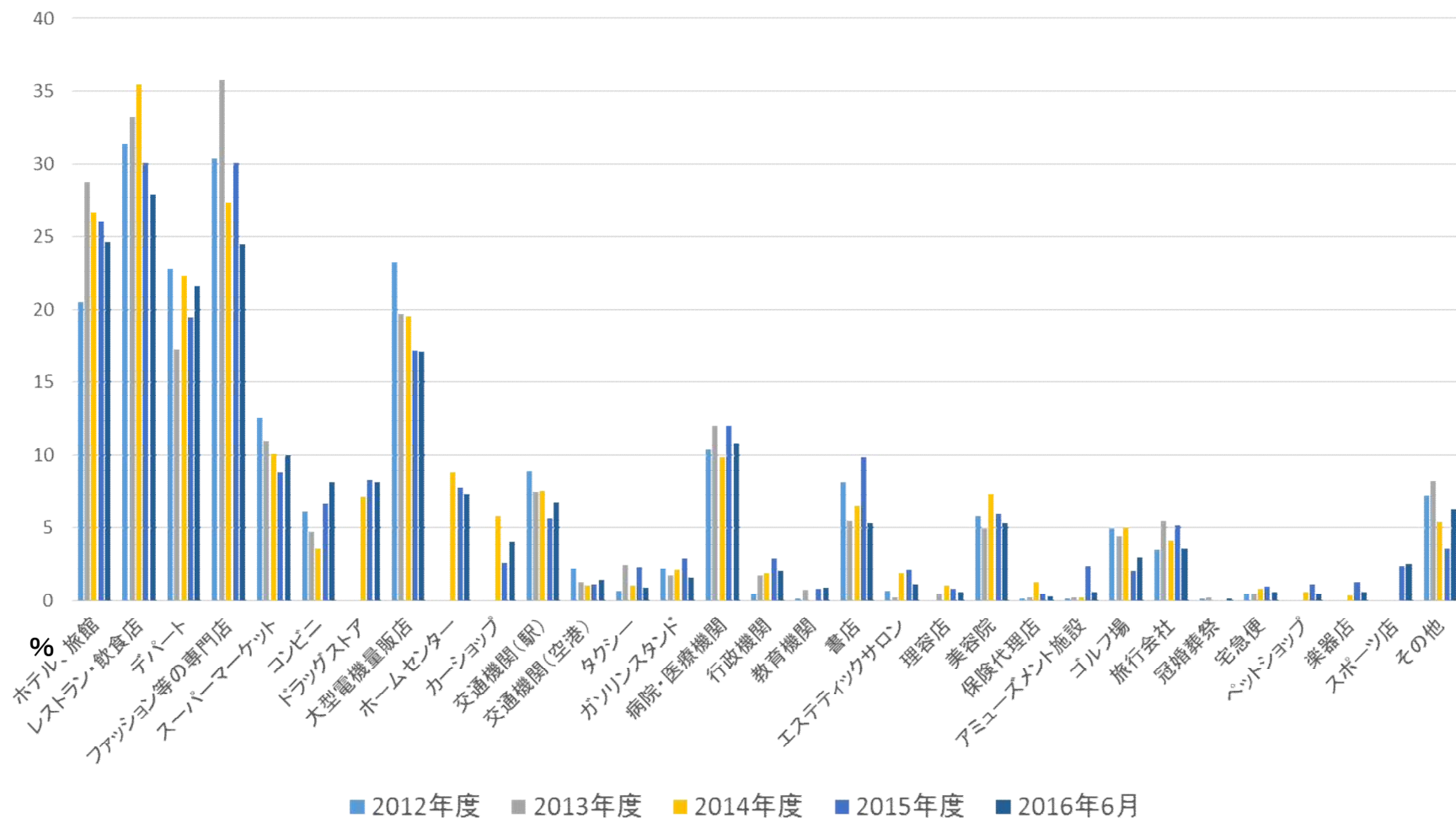
ICクレジットカードを利用するにあたり、PIN(暗証番号)入力を要求された割合(いくつでも)



分析

- PIN(暗証番号)入力を「要求されたことが無い」が36.3%に微減した。
- 全体的にPIN入力を要求される割合が減少してきている。
これは、少額決済でのサインレスなどの影響であると推測される。

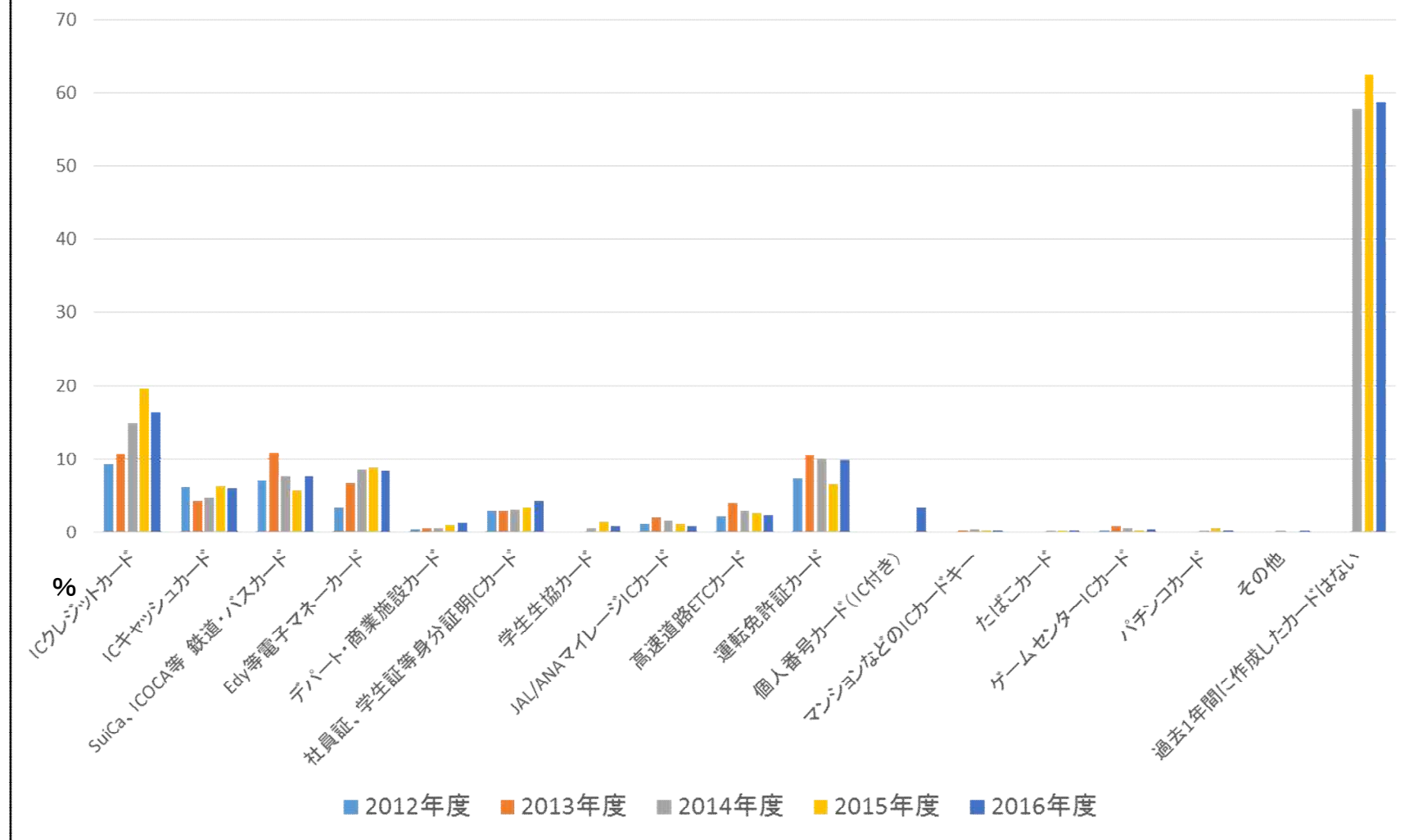
ICクレジットカードを利用するにあたり、PIN(暗証番号)入力を要求された業種(いくつか)



分析

○ ホテル、旅館、レストラン・飲食店、ファッション等の専門店などでICクレジット端末が定着しており、病院、書店での普及も進んでいる。ただし、PIN入力を要求される割合が下がっている。

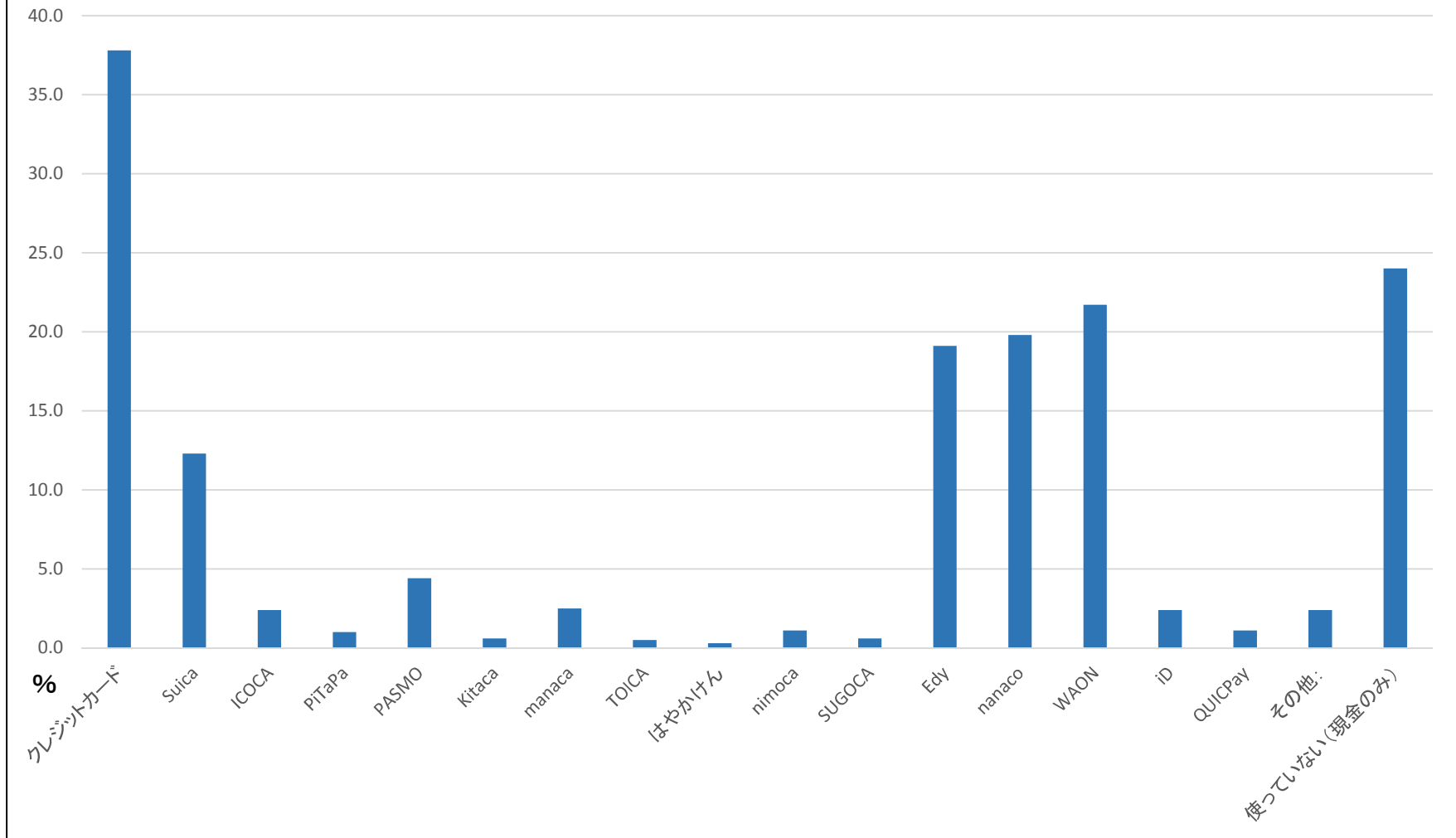
過去1年(2015年6月～2016年5月)の間に新たに作成したICカード(いくつでも)



分析

- ICクレジット、電子マネーカードの新規作成が多かった。
- 個人番号カード(IC付き)を今回から新たに項目として追加した。

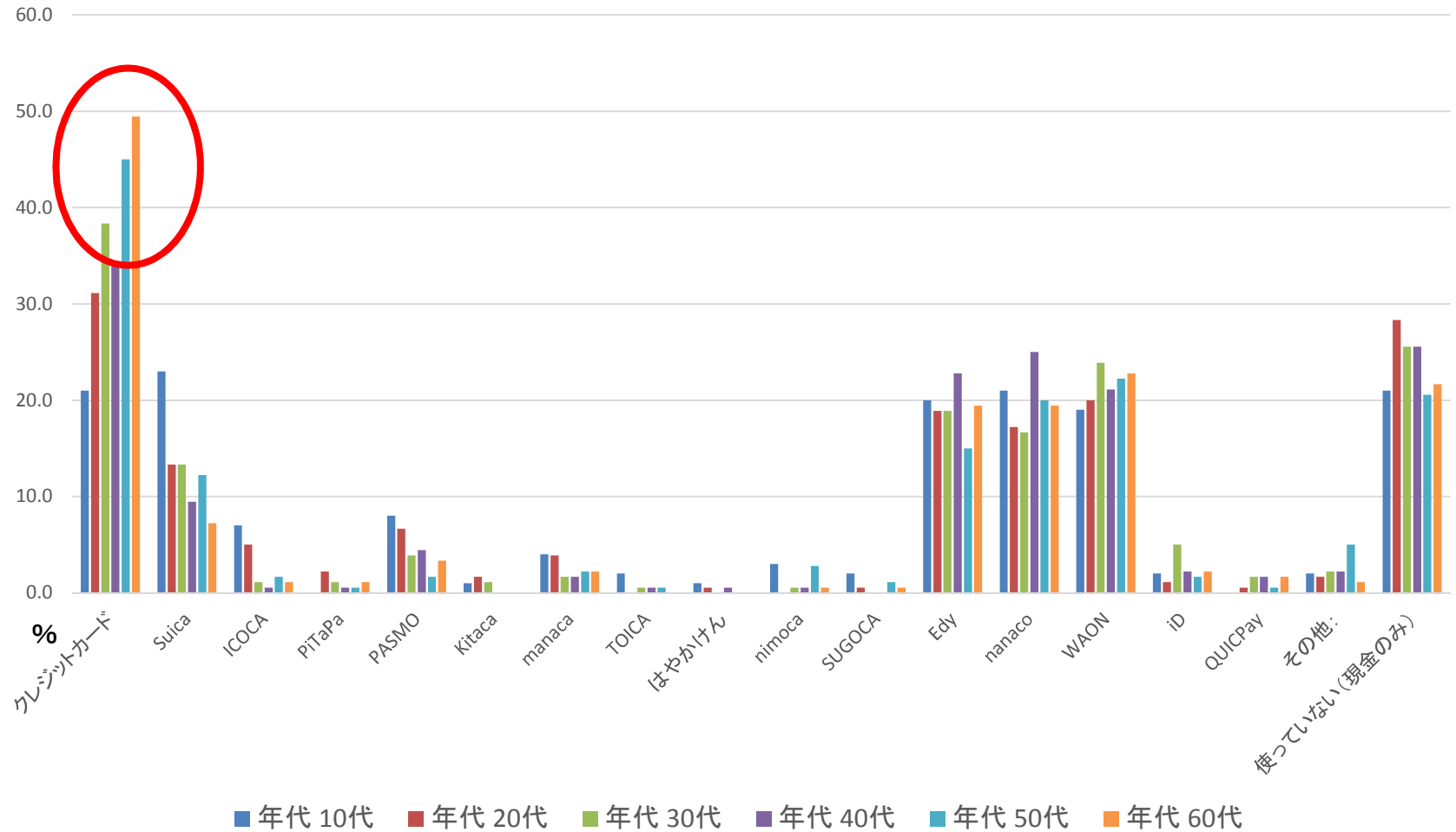
最近コンビニ、スーパーで現金を使わずに利用するカードは何ですか。(いくつでも)



分析

- クレジットカードでの決済が37.8%であった。
- 電子マネーでは、WAON、nanaco、Edy、Suicaの順で利用率が高い。
- 現金のみの利用者は、24%であった。

年代別カード決済方法 最近、コンビニ、スーパーで現金を使わずに利用するカードは何ですか(いくつでも)

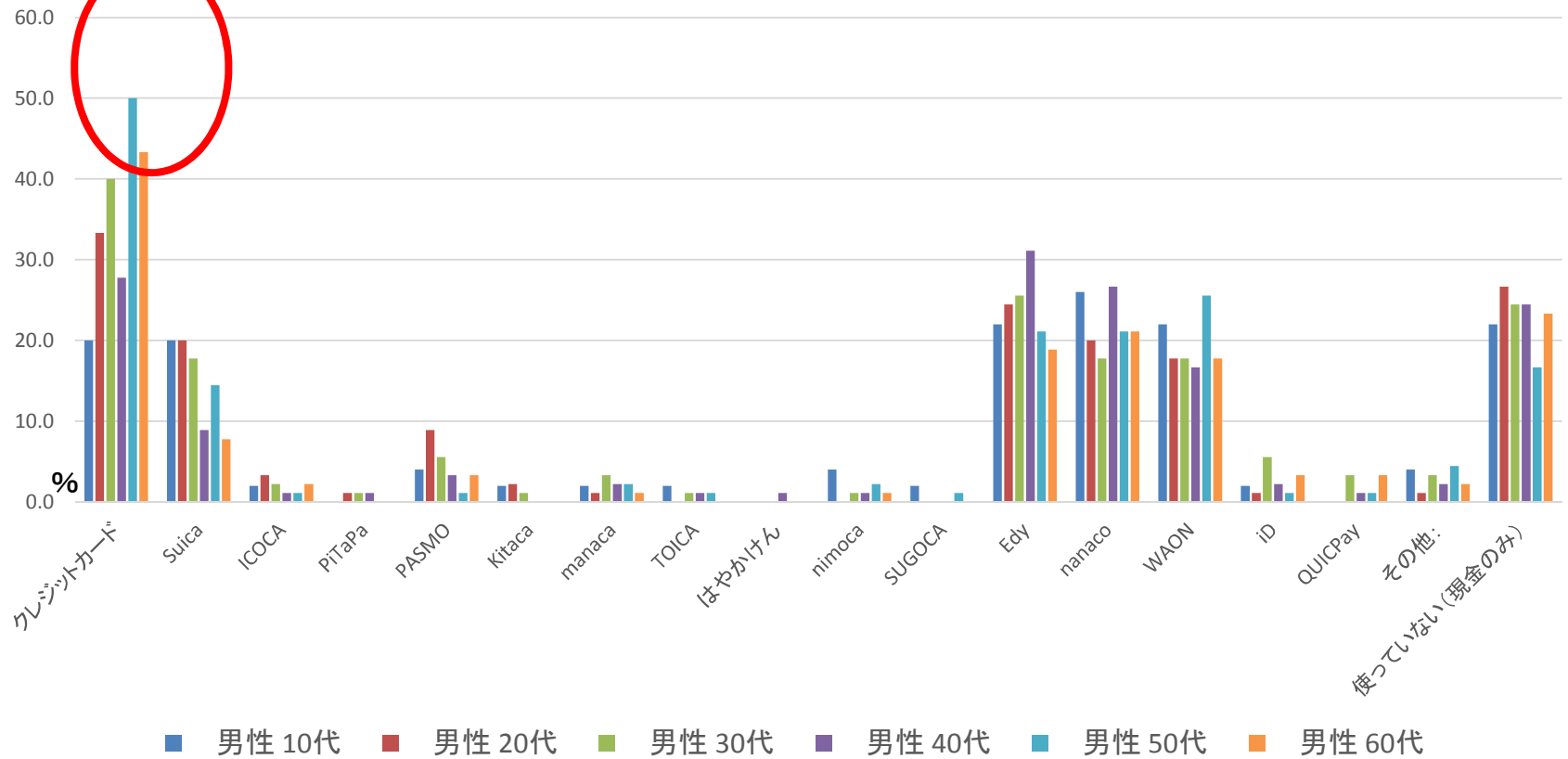


分析

- 年代が上がるほどクレジット決済の利用率が高くなる。
- 20代の現金決済が多い。

男性年代別カード決済方法

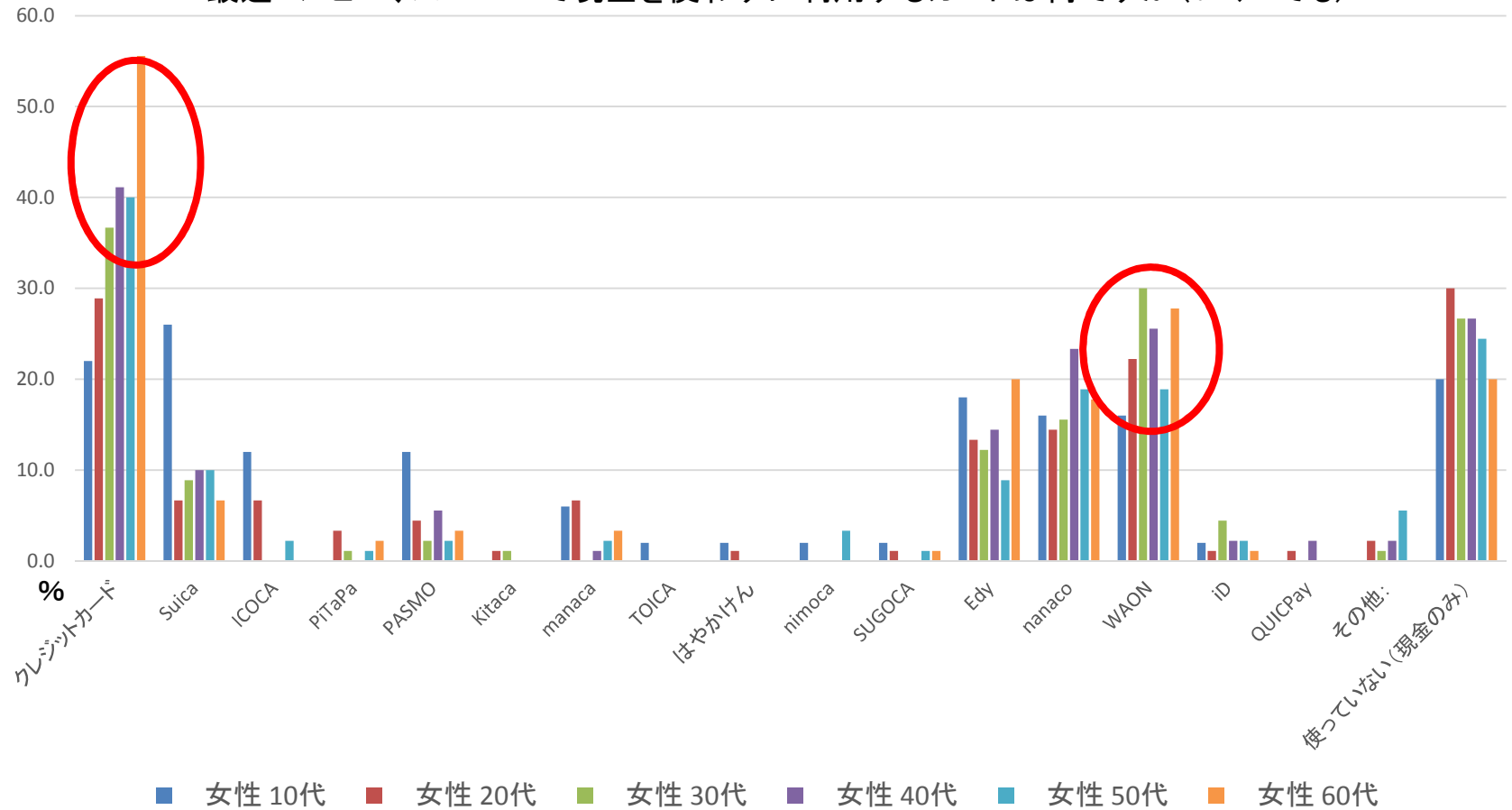
最近コンビニ、スーパーで現金を使わずに利用するカードは何ですか(いくつでも)



分析

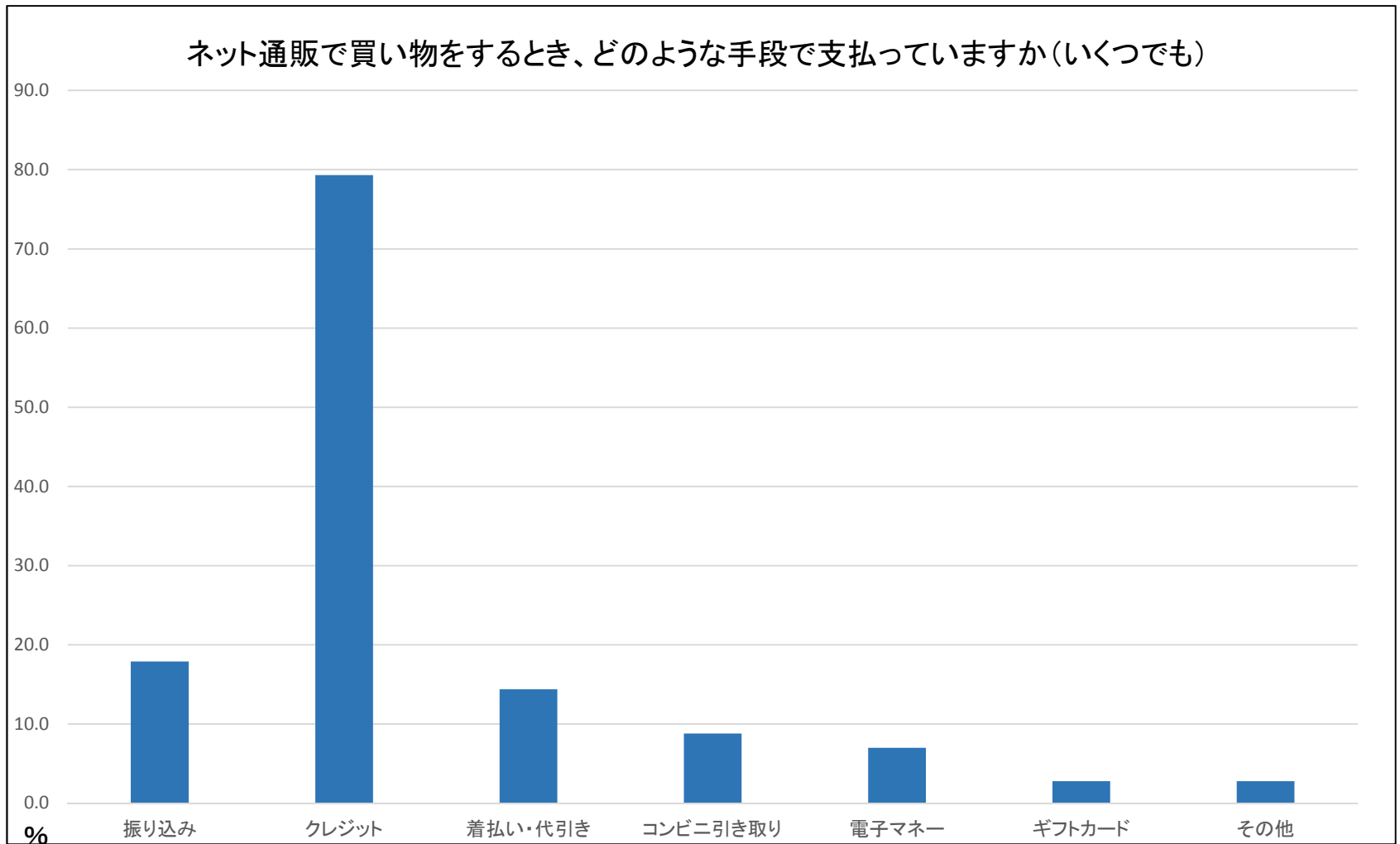
- 男性年代別の電子マネーでは、Edy、nanacoの利用率が高い。
- クレジットは、50代の利用が50%となっている。

女性年代別カード決済方法
最近コンビニ、スーパーで現金を使わずに利用するカードは何ですか(いくつでも)



分析

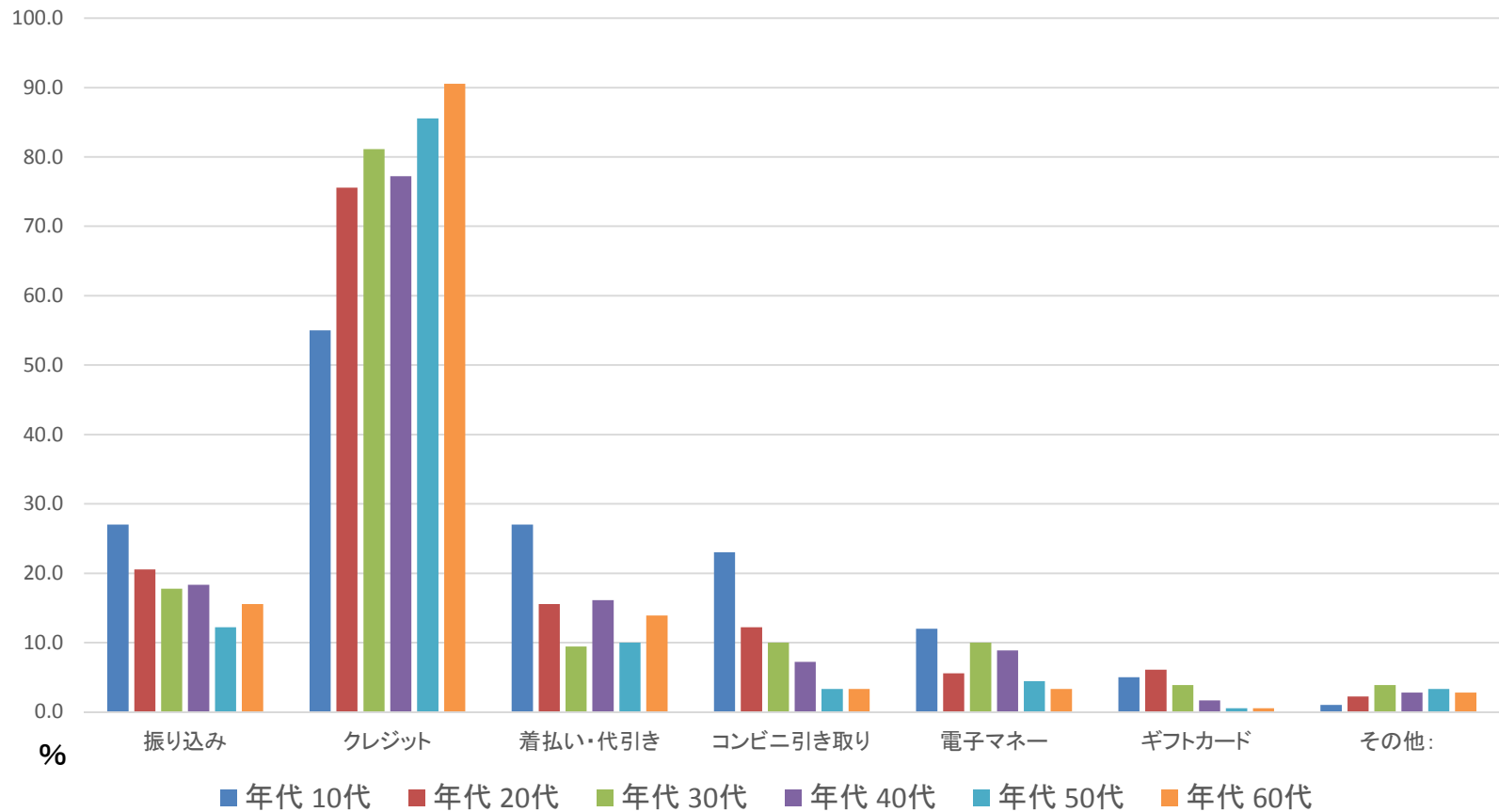
- 女性年代別の電子マネーでは、流通系のWAONの利用率が高い。
- 男性より、女性の方がクレジットカードを利用している。
特に60代の利用率が55.6%と高い。



分析

○ クレジットカードでの決済が8割を占めている。

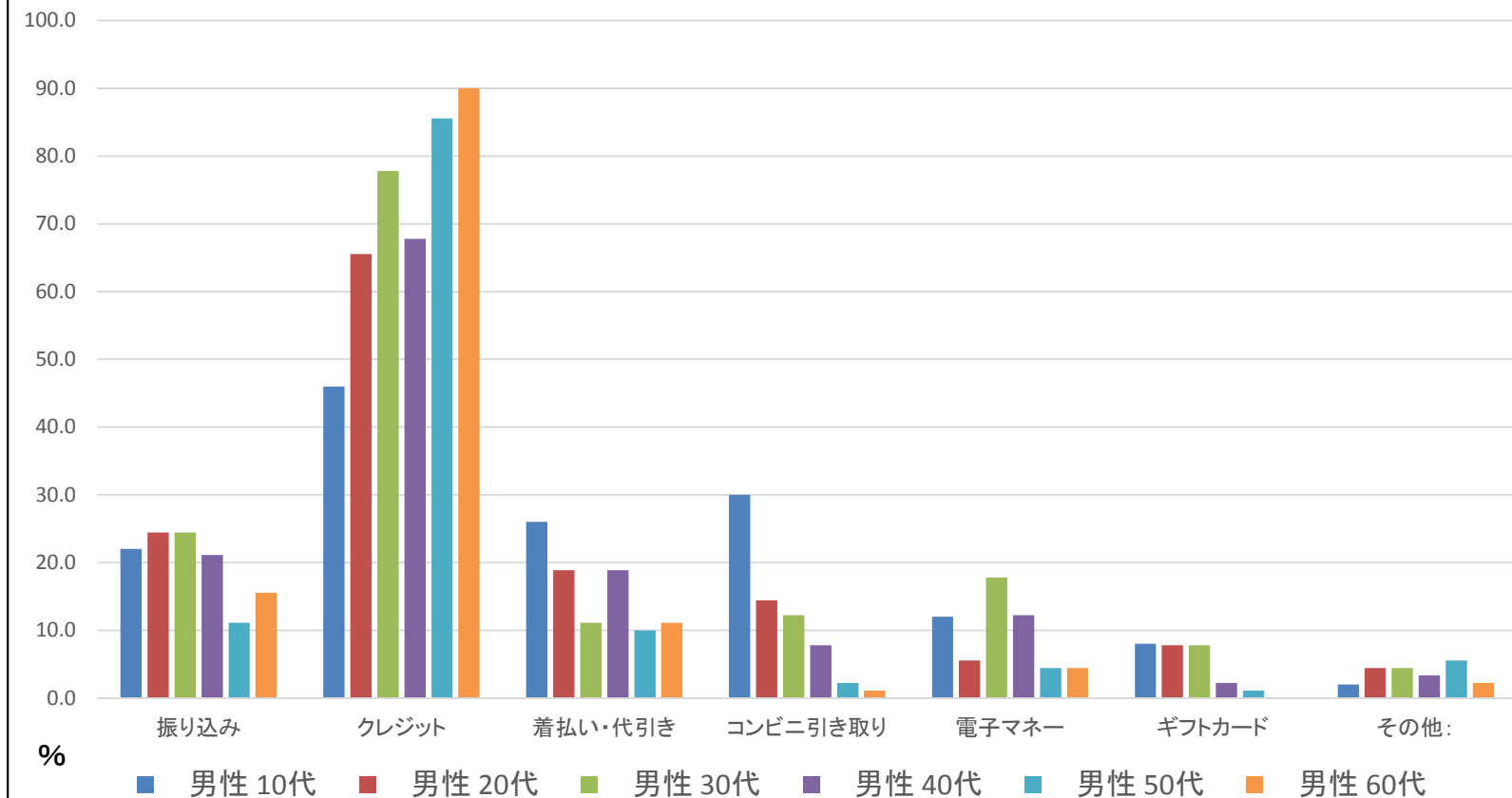
ネット通販で買い物をするとき、どのような手段で支払っていますか(いくつでも)
年代別決済方法



分析

- クレジットカード決済の利用率は、年代が上がるほど高くなっている。
- 振り込み、着払い・代引き、コンビニ引取は、10代での利用が多い。

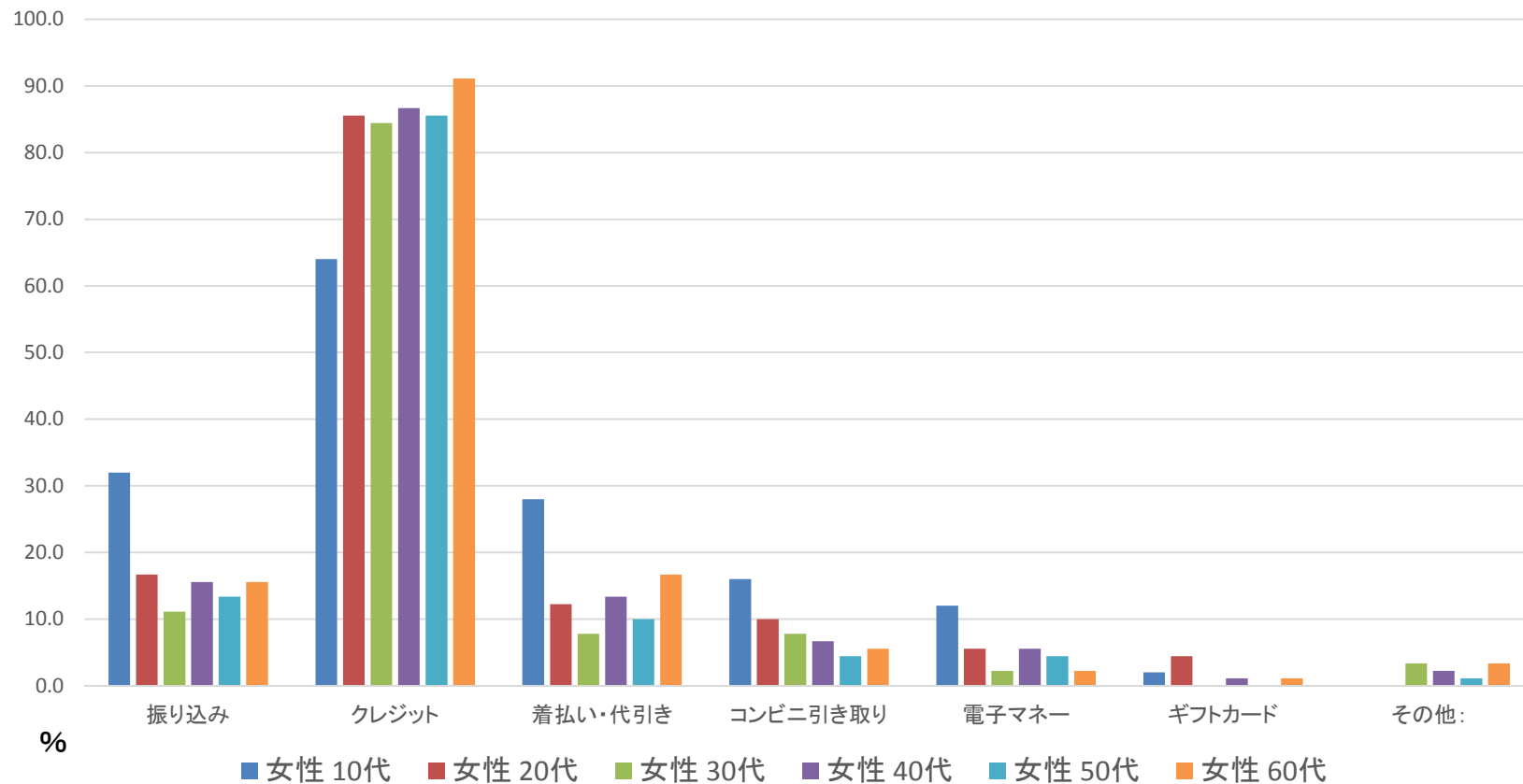
ネット通販で買い物をするとき、どのような手段で支払っていますか(いくつでも)
男性年代別決済方法



分析

- クレジットカード決済の利用率は、年代が上がるほど高くなっている。
- 着払い・代引き、コンビニ引き取りの利用は、10代が多い。

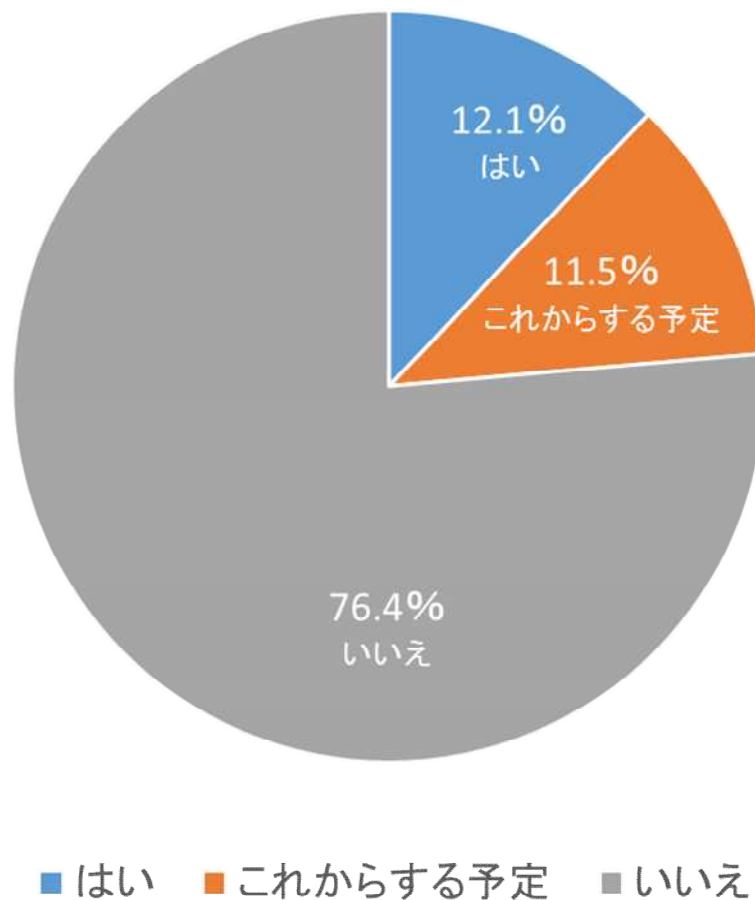
ネット通販で買い物をするとき、どのような手段で支払っていますか(いくつでも) 女性年代別決済方法



分析

- クレジットカード決済の利用率は、年代が上がるほど高くなっている。
- 女性のほうが、男性に比べると20代からのクレジット決済が多い。
- 振り込み、着払い・代引きの利用は、10代が多い。

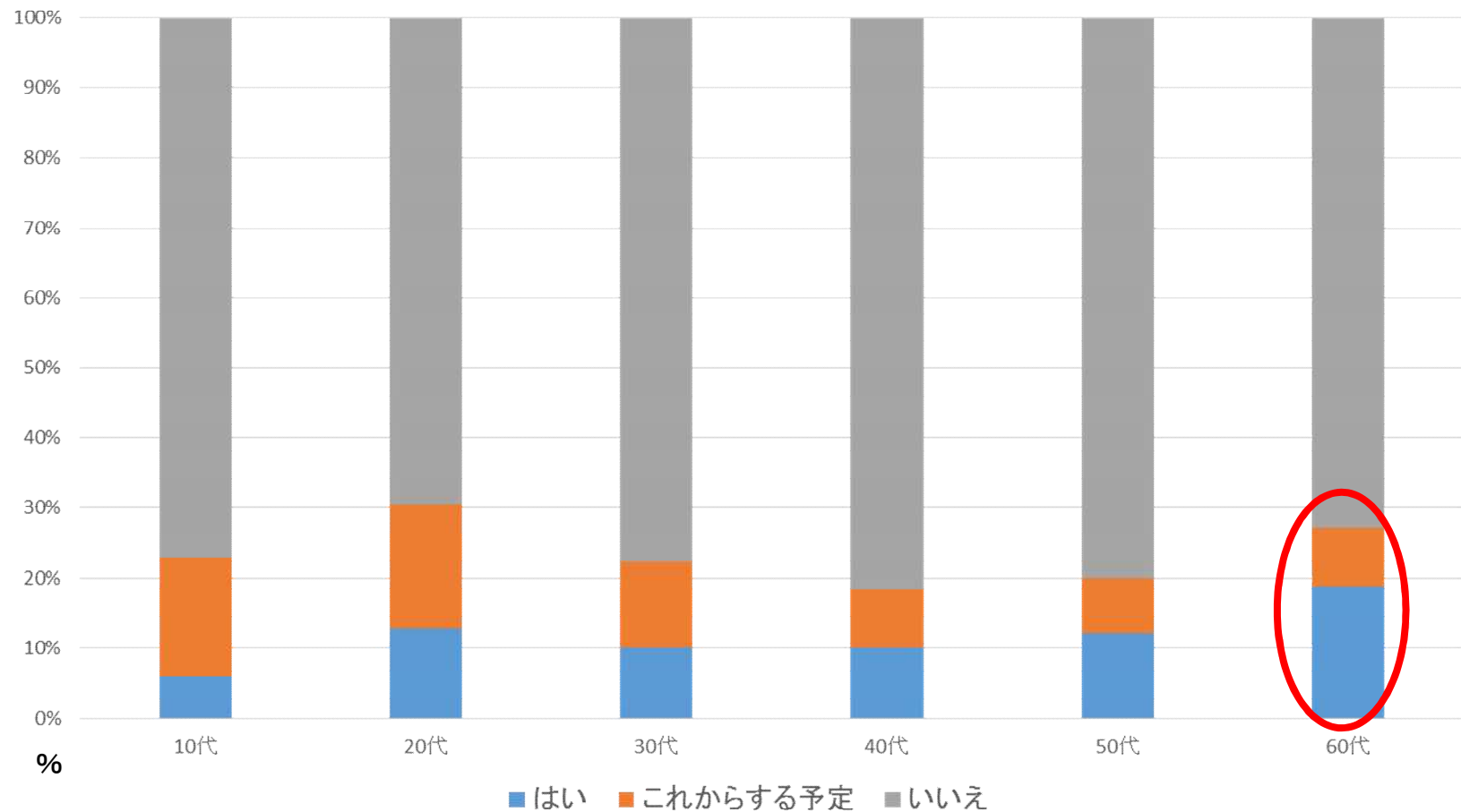
送られてきたマイナンバー通知カード(紙製)を個人番号カード(写真がつくICカード・無料)に交換しましたか



分析

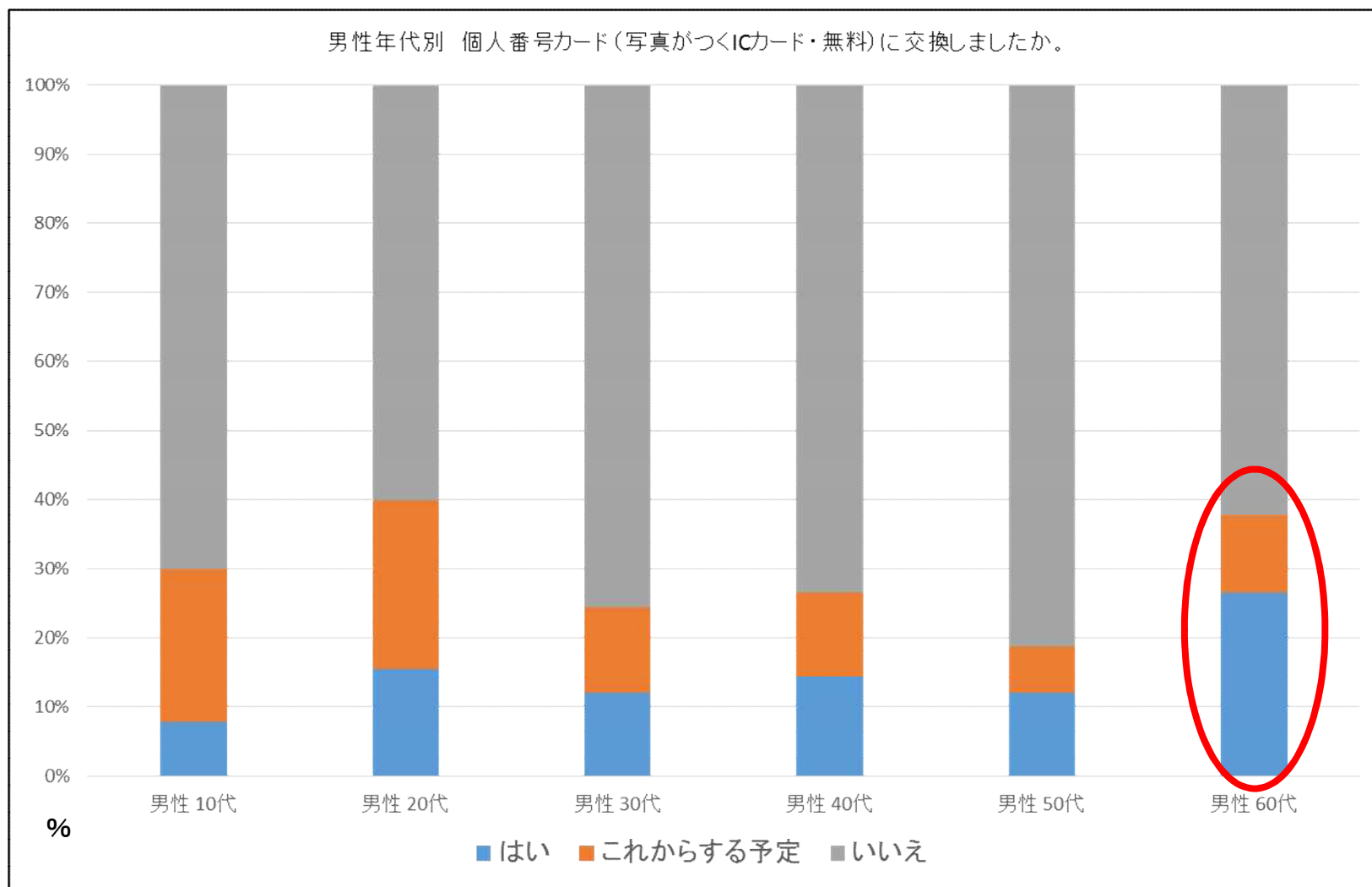
○ 個人番号カードに交換した割合は12.1%であった。いいえは、76.4%であった。

年代別 個人番号カード（写真がつくICカード・無料）に交換しましたか。



分析

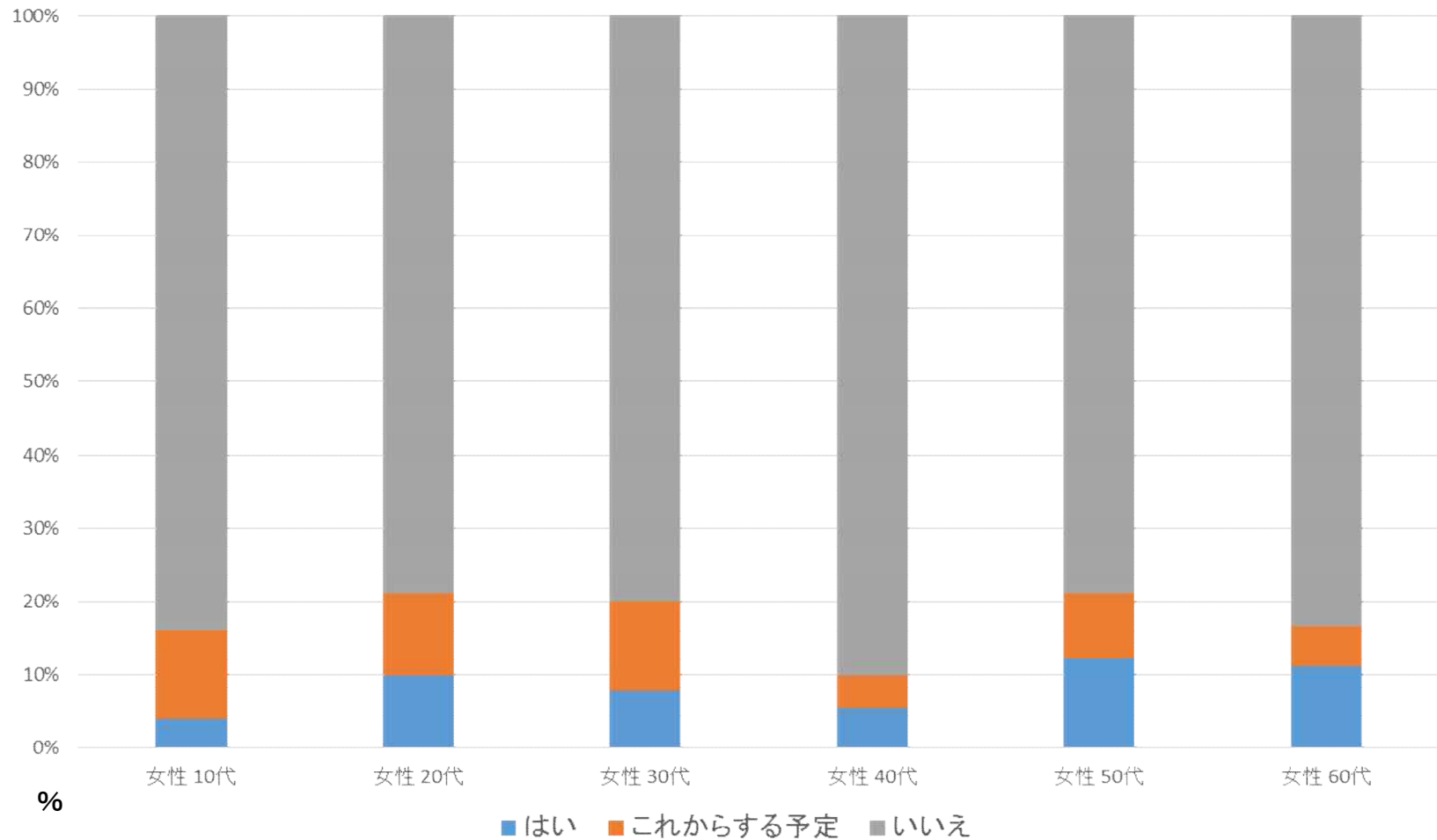
- 60代が個人番号カードに交換した割合が高い。
- これから交換する予定の割合が高いのは、10代、20代である。



分析

- 60代の男性が個人番号カードに交換した割合が高い。
- これから交換する予定の割合が高いのは、10代、20代である。

女性年代別 個人番号カード(写真がつくICカード・無料)に交換しましたか。



分析

- 50代、60代の女性が個人番号カードに交換した割合が高い。
- これから交換する予定の割合が高いのは、10代から30代である。